

# あみん 民医連

2025年5月21日発行

【8面オールカラー】発行部数2,910部

第  
317  
号

発行元／青森県民主医療機関連合会

所在地／〒030-0803 青森市安方 1丁目11-6-1F

TEL. 017 (723) 4076

FAX. 017 (773) 5326

URL <https://aomin.jp/>

e-mail [info@aomin.jp](mailto:info@aomin.jp)



泉谷 雅人 健生病院 事務局長

いのちとくらしを脅かす現状に、私たちは声をあげなければなりません。物価高や医療・福祉の後退に苦しむ人々が希望を持てる社会を、いまこそ実現すべきです。私たちは民医連の仲間として、誰もが人間らしく生きられる地域づくりに取り組んできました。戦争ではなく平和を、競争ではなく共生を大切に政治へ——。一人ひとりの声が、社会を変える力になります。すべての人の尊厳が守られる未来に向けて、ともに歩みましょう。

私たち民医連の医療・介護・福祉事業は政治と極めて深い関係にあります。政治がよくなれば必要な診療報酬が得られずに、医療機関・薬局・介護施設などの経営は維持できなくなります。また、多くの方々が急激な物価高騰による生活苦で保険料や自己負担が払えずに、受診を控える事例が増えています。これ以上の社会保障費増悪を許さず、必要な診療報酬を求めるとともに、患者・利用者さんの健康に生きる権利と医療を受ける権利を守ることが私たちの使命です。次の参議院選挙は全ての人にとって大切なたたかいです。選挙であなたの意思を示す一票を投じましょう。

工藤 敏子

ファルマ弘前薬局  
取締役事務部長



## 『国民の声を届けよう』

私たち民医連で働く職員は、常に国民のいのちや暮らしを守るための視点を持ち、日々の業務に励んでいます。技術の革新はどんどん進化し便利になっている一方で、国民の暮らしは本当豊かになっているのか？と思えば、決してそうではありません。命や暮らしが蔑ろにされ、多くの人たちにとっては大変生きづらい社会になってきています。参議院議員の任期満了に伴う選挙が今夏に行われます。多くの人たちが望んでいる本当に豊かな社会づくりを実現するため一票を投じ、世の中を動かしていきましょう！

小山内 海

生協さくら病院  
事務局長



下館 大史

介護付き有料老人ホーム  
生協たむかひの家 施設長

医療・介護で働く私たちの報酬は、国の政策で決められてしまします。政治を大本から変えて社会保障を充実させなければ、私たちの労働は報われません。7月の参議院選挙では、医療・介護に寄り添った社会保障



の充実を掲げる候補者・政党へ投票しましょう。裏金づくりの反省もない、企業・団体献金廃止も決められない今の政府は国民の信頼を失っています。自分の1票で世の中は変わります。私たちの未来が少しでも良くなることを信じて政治に対する意思表示をしましょう。必ず投票に行きましょう。

## 選挙に行きましょう！ 未来のために！

参議院選挙に向けての  
ひとことメッセージ

立花 典明

あけぼの薬局妙見店 事務局長



税金を納めている私たちに、納税した分の「生活・暮らし」が保障されているでしょうか？日本は相対性貧困率が先進7ヶ国で米国に次ぐ下位2位です。湯水の如く軍事費を使い、社会保障費を削るだけ削っているのが今の自公（維新）政権です。誰でも安心して暮らせる社会への転換が求められ、それを実現するのが選挙です。選挙権のない子どもの未来も考え、あなたの一票を個人の一票で終わらせてはなりません。参議院選挙で私たちの願いを実現してくれる候補者・政党に投票しましょう。

夏の参議院選挙は、私たちの生活を左右する大切な選挙です。

現在の情勢から分かるように、物価高騰の煽りを受け、全国的に病院・介護の経営が悪化しています。介護事業においては慢性的な人材不足となっており、事業所の統廃合が進んでいます。これらの影響は、医療・介護・福祉の現場で働く私たちだけでなく、地域に暮らす方々にも多大なる影響を及ぼします。社会保障費の削減は、医療・介護・福祉のサービスの質やアクセスの減少を招き、「無差別・平等」を掲げる私たちの綱領とかけ離れた社会となっていきます。誰もが安心して医療・介護・福祉サービスを受けられる社会のため、自分一票を投じに行きましょう！

石塚 理仁

青年委員長  
ヘルスサポートやすかた事務局長



山内 聖晃

社会福祉法人・花 本部 事務局長

## 新時代への一票

～この先にある生活を豊かにするために～

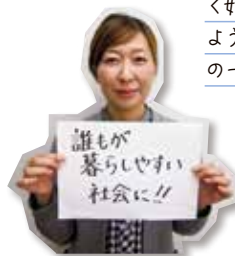
僕達一般庶民の生活はとても苦しくなっています。2024年問題の影響が今になり始まる、生活をするために必要なありとあらゆるものの価格上昇がとまりません。さらには世界情勢の激変の影響も、生活へ大変に拍車をかけています。

終わりのない迷路へ入り込んだような暗い気持ちになりがちですが、この先にある生活を豊かにするための大事な6年間を託す参議院選挙が間もなく始まります。生活の土台が安定できますよう祈りを込めて、この先にある新時代への一票をみんなまで致しましょう。



萱森 静香

地域活動支援センター八甲 所長



障害をお持ちの方々の相談支援を通じ、コロナ禍からより一層「暮らしの大変さ」や「生きづらさ」を多く抱えていると実感します。私達の働く現場の人手不足も深刻です。

私達の仕事や暮らしが政治と決して無関係ではない事、元気に働き続けられる事の大事さを感じています。

私達に出来る事、選挙に行って投票しなければ変わるきっかけにもならないと思います。声を掛け合って、是非！みんな選挙に行きましょう。

2025年度 /

# 入職おめでとう！

## 津軽保健生活協同組合 35名



- ・医師…………… 7名
- ・看護師…………… 13名
- ・薬剤師…………… 3名
- ・理学療法士…………… 4名
- ・作業療法士…………… 4名
- ・管理栄養士…………… 1名
- ・公認心理士…………… 1名
- ・MSW…………… 1名
- ・事務…………… 1名

## 青森保健生活協同組合 13名



- ・看護師…………… 8名
- ・准看護師…………… 3名
- ・作業療法士…………… 1名
- ・事務…………… 1名

## 株式会社ファルマ 4名



- ・事務…………… 1名
- ・薬剤師…………… 2名
- ・介護支援専門員…………… 1名

## 社会福祉法人虹 7名



- ・事務…………… 1名
- ・看護師…………… 1名
- ・介護福祉士…………… 3名
- ・精神保健福祉士…………… 1名
- ・介護支援専門員…………… 1名

※入職式は2名不参加





# 新入職医師紹介

— … 医師 — — … 研修医 —



出身  
青森県青森市  
**藤岡 彩夏**  
ふじおか あやか

はじめまして。この春から小児科で働くこととなりました。これまでは大学病院、弘前総合医療センターで働いておりました。病院に来た子どもたちが元気になっていく様子を見るのを日々の糧として診療を行っております。健生病院で働くのは初めてですので、不慣れゆえに至らぬ点もあるかとは思いますが、精一杯職務にあたらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



出身  
青森県おいらせ町  
**千曳 晨太**  
ちびき しんた

はじめまして。4月より健生病院で初期研修医として入職いたしました、千曳晨太と申します。大学進学を機に弘前へ移り、人の温かさや豊かな四季の表情に触れ、この地で引き続き研修したいと考えていたため、晴れて健生病院で研修できますことを大変嬉しく思います。民医連の奨学生でもあり、健生病院の皆さまには学生時よりお世話になっておりました。至らぬ点も多いかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



出身  
三重県津市  
**南 律安**  
みなみ りつやす

はじめまして。4月より初期研修医として入職しました、南律安と申します。私は社会人を経て弘前大学医学部に学士編入学しました。出身は三重県ですが、弘前で5年暮らす中で青森県が第二の故郷と言えるほど好きになりました。健生病院では大学の実習でお世話になり、この病院でぜひ働きたいと考えていましたので、入職できたことをとても嬉しく思っております。至らぬ点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



出身  
千葉県流山市  
**相和 侑馬**  
そうわ ゆうま

はじめまして。弘前大学を卒業後、2年間秋田県の大館市立総合病院にて初期研修を行い、4月よりTY研修医として健生病院に入職させていただきました、相和侑馬と申します。初期研修を終えたばかりでありまだまだ知識不足で至らぬ点があるかもしれませんが、1年間健生病院にて精一杯様々なことを学び、少しでも津軽地域の医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



出身  
青森県弘前市  
**下山 海太**  
しもやま かいた

4月より初期研修医として入職しました、下山海太と申します。休学して東京で芝居をしていたので訛りは少ないかもしれませんが。役作りの上でどうしても役柄の心の機構に興味があるため、いま一度腰を据えて精神医学を、引いては医学をしっかりと学びたいと思います。戻ってきました。私が産まれたこの健生病院で、今度は医師として産声を上げられることを心から嬉しく思います。よろしくお願いいたします。



出身  
岩手県滝沢市  
**村上 蘭**  
むらかみ らん

はじめまして。この度健生病院で研修させていただきますことになりました、村上蘭と申します。高校まで岩手県で過ごし、大学進学のために弘前へ参りました。大学の臨床実習で健生病院にお世話になる機会があり、様々な職種の方が地域の医療のために協力して働いている姿を拝見し、私もそんな健生病院で働きたいと思うようになりました。まだまだ未熟ではありますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



出身  
青森県野辺地町  
**廣野 優希音**  
ひろの ゆきお

はじめまして。4月から初期研修医として入職いたしました、廣野優希音と申します。私は幼少期を野辺地町で過ごし、小学校5年生から弘前で暮らしています。将来は児童精神科の道に進み、地域の子供たちが誰ひとり取り残されることなく楽しく健やかに成長し、誰もが活躍できる地域づくりに携わりたいと考えています。至らぬ点も多いとは思いますが、みなさんに信頼してもらえるよう頑張るので、どうぞよろしくお願いいたします。



健生病院 リハビリテーション科 理学療法士  
**工藤 聡介**  
くどう そうすけ

この度、健生病院に理学療法士として入職しました、工藤聡介です。まだまだ分からないことも多いですが、先輩方にご指導いただきながら日々学んでおります。地域の方々の健康を少しでも支えていけるように努力して参ります。よろしくお願いいたします。



生協看護小規模多機能ホーム虹の家 介護福祉士  
**松原 貴子**  
まつばら たかこ

5年ぶりに、介護職に復帰致しました。犬との散歩に癒されジョギングやジムを再開しようと思います。末息子が社会人となり、共に新生活スタートです。先輩方のご指導のもと、自分らしく頑張りたいです。よろしくお願いいたします。



大野あけぼの薬局 薬剤師  
**蛇川 航輝**  
あぶかわ こうき

4月より、薬剤師として大野あけぼの薬局に入職させて頂くこととなりました、蛇川航輝と申します。青森県八戸市の出身です。現在は薬局の皆様のご指導のもと、少しずつ仕事をさせて頂いております。まだまだ未熟ではありますが、薬剤師として日々学び、地域の皆様の方になれるよう成長していきたいです。よろしくお願いいたします。

## 新入職員代表者紹介

4月から看護師として入職しました後藤です。私は、患者様一人ひとりに寄り添い、安心感を与えられる看護師を目指しています。まだ分からないことが多くありますが、先輩方へ報告連絡相談を徹底し、安全に看護を実践できるように初心を忘れずに頑張ります。よろしくお願いいたします。



あおもり協立病院 5階病棟配属 看護師  
**後藤 愛希**  
ごとう あき

ファルマに入職しました、事務の古川碧人と申します。出身は弘前市で青森大学へ通うために青森市にいたのですが、就職を機に弘前へ戻ってまいりました。好きなことは食べることで、好きな食べ物はけの汁です。様々なことを学び身につけることで、生まれ育った地域に貢献できる働き方をしたいと思っています。新社会人なので右も左もわかりませんが、先輩職員の方々を見習って一生懸命頑張っていきたいです。



ファルマ弘前薬局 事務  
**古川 碧人**  
こがわ あひと

社会福祉法人虹に入職させていただき、数年間は主に介護分野で様々な経験をさせていただきました。この度は相談支援専門員の研修を受講し、新たな学びを深めさせていただくことになりました。今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



地域活動支援センター八甲 精神保健福祉士  
**泉 佳代子**  
いずみ かよこ

## いのちのとりで裁判 裁判勝利学習決起集会 & 控訴審報告会

2月22日（土）青森市の東奥日報ビルにて行われ、唐鎌直義氏（佐久大学特任教授）が「社会保障を改善するたかひの正当性と実現への道筋」と題して講演しました。

膨大なデータから日本の社会保障費の実情を分析しました。①2011年から2022年で社会保障費に占める高齢関連支出が3.1%減少。②同期間で65歳以上の人口が21.8%増え、総人口は2.2%減少。③GDP比で社会保障費はほぼ横ばい。これらから高齢化は急激に進んだが、高齢関連の社会保障支出が極端に緊縮されたことがわかりました。では現役世代はどうか。児童手当など「家族分野」の拡充傾向があるものの、総額は微増に過ぎません。このままでは日本という国は、社会保障の節約で「大企業中心の経済成長を達した国」よりも「子どもがいなくなった国」になる可能性の方がはるかに高いと警鐘を

鳴らしました。また日本は世界各国と比べて国民負担率が高いとわかりました（英国17%、日本30%など）。このような情勢を学び国会要請や街頭宣伝などの運動を広げることが必要と思いました。

講演後は、葛西弁護士から青森裁判の現状報告があり、最後に原告団が勝利への支援を訴えました。高裁判決勝利のために支援を続けたいと思います。

（社会福祉法人虹 事務局長 佐藤真人）



基礎講座では、これまでのPFASとは何かという基本的な説明から現在のPFAS問題の到達までを、東京の健生会作成のPFASガイドブックに沿って分かりやすい内容を聞くことが出来ました。分散会は「PFAS血液検査」「PFAS外来」「自治体交渉」「職員・住民対象学習の進め方」4つが行われました。

PFASの影響は多岐にわたり症状が現れる可能性があるため、現在のたかひの中心は「PFAS相談外来と血液検査の必要性」と「基地や工場などの発生源への運動」であると感じました。全国各地の報告では、不安を感じている地域の方に対して相談や検査を行い、情報を収集し、問題となる水源に関する情報公表を行政に対して交渉し、地域の課題にして運動に繋がっています。

体外に排出されるまで非常に長い時間がかかり体内への悪い影響が長く続く事、自然には発生しないため発生源は必ず存在するという事から、各地で長期的な視点で取り組みをしていくことが大切です。PFAS問題は、これから学習などを多く取り上げていき、公害や環境問題に人権と結び付けて医療と運動を進めてきた民医連の出番である事を、多くの職員が認識する必要があります。今後も皆さんで他県の到達から学び、ぜひ青森の取り組みにしていきたいと思います。

（あおもり健康企画 総務部長 山崎英二）

全日本  
民医連

第2回

PFAS問題交流会

専門外来の血液検査と行政への情報開示運動で  
地域の方に寄り添った活動に！

3月1日（土）、オンラインにて開催されました。全体での基礎講座・記念講演のほかに、後半は分野に分かれた分散会を行いました。

## さようなら原発・核燃3.11集会

3月9日（日）、リンクステーションホール青森にて開催され、全体の参加者は約370名となりました。

特別講演では、元京都大学原子炉実験所助教授の小出裕貴氏が六ヶ所村の再処理工場について触れ、「海洋放水は膨大な放射能を含んでいる」とお話されていました。また、再処理技術は破綻しているとし、原子力にしがみつ়政府・経済界・官僚を強く批判しました。集会後、講師の

小出先生も参加していただき、デモ行進で原発・核燃廃止のアピールも行いました。

この3.11集会は全国各地で実施されています。多くの参加者の想いを集結させ、核燃料サイクルを推し進める現政府の悪政にストップをかけていけるよう、これからも運動を続けていく必要があると思います。多くの方はご存じかと思いますが、青森県には六ヶ所再処理工場を含め多くの核燃料リサイクル施設が存在していると同時に、多くのリスクを抱えているということをぜひ覚えていただきたいと思います。

東日本大震災から今年で14年が経ちました。3.11青森集会は震災の悲惨さ、原発事故の恐ろしさを改めて実感する機会を与えてくれます。震災を風化させないためにも、これからも活動に参加していきたいです。

（青森保健生協 組織部次長 福士学）





# 県連リハ技術者委員会・身障部会活動情報交換会

－急性期から生活期までの制度改定や現場課題を共有－



県連リハ技術者委員会 対馬事務局長のあいさつ



健生病院 リハビリテーション科紹介



参加者 集合写真

県連内の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が制度改定に対応した各事業所の報告やグループワークで、社会情勢の理解や現場の知見・悩みを共有しました。

3月1日（土）浪岡中央公民館にて開催し、県連内急性期・回復期・生活期の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士22名が参加しました。

開会あいさつでは県連リハ技術者委員会・対馬健洋事務局より、民医連セラピストとして日常業務や悩みの共有に加え、高額療養費など社会情勢への関心と行動を提起しました。

あおもり協立病院・健生病院の院所紹介をし、診療報酬・介護報酬の同時改定があった年度で「リハ栄養口腔連携体制加算」、「転倒リスク評価」、「退院時共同指導」の報告をしました。

グループワークでは、「各事業所の取り組みや課題から早期介入や医療・介護連携の重要性を再認識し、今後に活かしたい」「職種間の悩みを気軽に話せて有意義で次回も参加したい」といった声が多く聞かれました。

今後も県連セラピスト間で医療・介護制度や社会情勢の理解、情報共有を通し、対象者の方によりよいリハビリテーションを提供します。最後に経営・体制が厳しい中、参加許可してくださった各職場長はじめ、本研修中に現場対応していたスタッフの方々にも厚く御礼を申し上げます。

（健生病院 リハビリテーション科主任 熊野洋平）

全日本民医連

第46期

民医連事務集団「3つの役割」

実践交流集会

「民医連事務職員として」

3月28日（金）～29日（土）TKPガーデンシティ御茶ノ水にて、2年ぶり2回目の開催でした。青森県からは3名、会場には約150名の参加がありました。

1日目は、はじめに企画趣旨、民医連事務集団の3つの役割についての説明、多職種型リレートークでは、看護師・医師・介護福祉士の方より事務職員との関わり方や期待することのお話を聞くことができました。その後、5つの分散会場にて実践交流集会が行われ、ファルマの事務職員の取り組みについて発表しました。

2日間通して、改めて経営危機や日本情勢の厳しさを痛感するとともに、制度の提案や経営について語れる事務職員でなければ成り立たないなど感じました。専門資格はないけれど、根拠をもって意見を伝えることを意識し、事業所が存続できるようにこれからも学習していきたいと思っています。

（ファルマ弘前薬局 中西葉季）

2日目は、増田剛全日本民医連会長より「激動の日本と世界、民医連事務への期待」の記念講演でした。人間の尊厳を守る民医連でありたいというメッセージと、戦争や災害政策など人権が大切にされていない世界や日本情勢を踏まえた講義でした。その後、2日間の感想や各事業所の取り組みなどを班に分かれてグループディスカッションを行いました。



北海道・東北地協からの参加者



患者の気持ちに寄り添った  
信頼される医師になりたい

## 春の高校生 医師体験

弘前・青森・八戸の3会場で  
開催し、県内の医師を目指す高  
校生36名が参加しました。



青森の様子

3月27日(木) 八戸医療生協  
本部にて、相内一朗医師による  
『研修医として感じた多職種連  
携の重要性』実際の症例を基に  
カンファレンスしよう』を行  
いました。参加者からは「実際  
の症例を基に、正解のない問題  
に取り組むという貴重な体験が  
できてうれしかった」「ディス  
カッションでは自分と方針の異  
なる意見もあったが、みんな患  
者を助けたいという思いは変わ  
らず真剣に取り組めた」と感想  
がありました。

4月5日(土) は協立クリ  
ニックにて模擬医療面接を行  
いました。磯島寿人医師が考案し

たシナリオ  
を基に「腹  
痛」で受診  
される患者  
さんに対し  
て、高校生  
は医師にな  
りきつて医  
療面接を行  
い、医師か  
らのアドバイスやヒントを受け  
て病気の診断まで行いました。



弘前の様子

4月12日(土) は健生クリニッ  
クにて模擬医療面接を行いました。  
宇藤直人医師を中心に作成  
したシナリオを基に、高校生が  
3人1組になり患者役、家族  
役、医師役を体験しました。

青森、弘前の模擬医療面接で  
は計9名の医師と研修医にアド  
バイザーとして高校生とじっく  
りと関わりを持つてもらったこ  
とができました。参加者からは  
「将来は講師の先生方のような  
医師になりたい」「医師の仕事  
のやりがいや楽しさを知って医  
師になりたい」という気持ちが強  
くなった。「患者一人ひとりの  
声を聞き寄り添うことの大切さ  
を実感できた」「患者さんとの  
向き合い方を知る機会になっ  
た」と感想が出されました。

医師体験の先に、一緒に働く  
民医連医師が誕生するよう引き  
続き取り組んでいきます。

(青森民医連 葛西美芽)

## 春の高校生看護体験企画を開催

### 未来の医療従事者が実践を学ぶ

3月26日(水)～28日(金) 青森保健生協ではあおもり協立病院・生協さくら病院  
で開催し、6校から41名の新2年生が参加しました。今回から職員と同じ白衣を着用  
し、病棟体験・手洗い・人形を使った心臓マッサージ体験を実施しました。今回すべ  
ての参加者が初参加となり、「病棟で患者さんと話げできた」「手洗いって難しい」「心臓  
マッサージは難しい」と口々に話しながらも体験を通して「看護師という仕事に興味を  
持った」「看護師をめざしたいと思った」という感想が多く聞かれました。

3月25日(火) 津軽保健生協では「病院見学ツアー」を開催し、3校から9名の生  
徒が参加しました。午前と午後の2回実施し、包帯法やバイタルサイン測定の実習が行  
われ、病院内をツアーのように見学しました。特に手術室や産婦人科病棟の見学では、  
参加者から驚きと感動の声が上がりました。「明るい看護師のみなさんのおかげで楽し  
く学べた」「病棟ごとに雰囲気の違い、新たな発見があった」など、アンケートでも高評価が寄せられました。看護師の  
仕事に関心を持ち、将来を考える貴重な機会となったようでした。

(看護学生小委員会 長牛真理 阿保祥子)



血圧を測ってみよう(青森エリア)



沐浴室見学中(津軽エリア)

### 2024年度

## 高校生薬剤師体験会

～薬剤師ってどんな仕事?～

3月22日(土) 大野あけぼの薬局・あおもり  
協立病院にて開催し、青森市内の高校生14名が  
参加しました。弘前エリアでも3月8日(土)  
健生病院・ファルマ弘前薬局にて開催し、12名  
が参加しました。

青森エリアの体験会では大野あけぼの薬局・  
あおもり協立病院薬局の仕事紹介、見学、体験  
を行いました。当院薬局では業務内容をまとめ  
た動画を用いて病院薬剤師の魅力を紹介しまし  
た。また注射のミキシング体験を行い、実際に  
シリンジ・針を使用して薬剤同士を混合しても  
らいました。普段学校では体験できないことな  
ので、いい刺激になったのではないかと思います。

参加者の声としては次のようなものがありま  
した。調剤を繰り返し行っているイメージで  
あったが、多職種とコミュニケーションをと  
って患者さんに合った治療を行っていることがわ  
かったという内容でした。こちらとしても、薬  
剤師の魅力を少しでも伝えることができてよ  
かったと思います。

現在青森県は全国的に見ても薬剤師の数が足  
らない状況です(全国  
ワースト3位/202  
0年時点)。今回の体験  
会を通して将来の職業  
選択の助けになること  
、また薬剤師に興味を持  
ち、志す方が増えるこ  
とを願っております。

(あおもり協立病院  
薬局 中村拓紀)





# 青森県民主医療機関連合会と 青森県保険医協会の共同による 物価高騰等への財政支援を要望

日時

2025年4月17日(木)  
13時～13時半

場所

青森県庁  
健康福祉部長室

4月17日(木)、青森県民主医療機関連合会および青森県保険医協会と共同で、宮下宗一郎青森県知事に対して「医療機関への大幅な財政支援を求める」要望書を提出しました。懇談には、青森民医連から竹内一仁健生病院院長、泉谷雅人健生病院事務局長、村上渡津軽保健専務、今淳一青森保健専務、對馬康文県連事務局長の5名、青森県保険医協会から津川信彦会長、飯田寿徳理事、新谷進一事務局長、計8名が出席し、青森県からは健康医療福祉部の守川義信部長が出席しました。

要望項目は、①地域医療を守り、医療提供体制の安定確保のため、県内の医療機関を対象に、食料費の値上げや光熱水費、人件費の高騰などに対する大幅な財政支援をすること、②医療機関への大幅な財政支援を求める意見書を国へ提出すること、の2点です。

私達からは、「この間病院の経営が非常に悪化していること、コロナの補助金がなくなった昨年の診療報酬改定以降、さらに経営が悪化している。昨年の改定は実質マイナス改定、この間物価高騰や人件費の高騰が全く反映されないような改定だった。自治体病院も県病なども非常に赤字、民間病院は一般財政からの繰入等はないのでこのままいくと全国で資金ショートをしてくる病院も出てくる可能性がある。我々のところも経営的に非常に厳しい状況ですので、県としても、なかなか厳しい状況だと思えますが大幅な支援をお願いしたい。また県から国へ要望をあげていただきたい」と訴えました。

守川部長は、「財政支援については、令和6年度分の地方交付金を活用して準備を進めている。国に対する意見書提出についても、知事会等できつちりと話をしたい。また財政支援の他、ノーリフティングケアの補助や、オンライン診療における導入についても全額補助にて補助を行う予定としている」として活用を促しました。



部長懇談

事務局次長 對馬康文

## 「ケアの倫理」café 学習推進について

ケアの倫理はわかりやすくいえば、例えば目の前に悩んで困っている人がいるとして、「自分でしっかり考えなさい」と正論で諭すか、自分の考える解決策を滔々と述べるのが正義の倫理で、とにかくひたすら話を聴くのがケアの倫理です。

全日本民医連第46回定期総会(2024年2月)は、「ケアの倫理」を深めることを提起しました。

県連教育委員会としては、「ケアの倫理」の理解を深め、民医連運動を实践する力とするために、「『ケアの倫理』を深めるCafé企画」の取り組みを、2025年4月～10月末までの7か月間と定め、以下の3点を提起します。

- ①「ケアの倫理」について、ケア実践や生活に引き寄せて語り合い、理解を深める。
- ②世界の人権保障の到達や日本国憲法の視点から「ケアの倫理」を深める。
- ③多様性を認め合い、互いの声に耳を傾け、誰もが個として尊重される組織への変革をめざしながら、「ケアに満ちた新しい社会とは」を語り合う機会とする。

「ケアの倫理とは、アメリカの発達心理学者キャロル・ギリガンが提唱した概念であり、人びとの悩みに個性に寄り添おうとする姿勢のことをいう。」

今回の提起を受け、すべての職場で、部会などを通して月1回以上Caféを企画しましょう。

そこで出された意見感想を受けとめ合い、学び合い、組織や社会を変革していく機会としましょう。

なお、皆様のお手元に届く、民医連新聞号外として月1回4～10月に発行される『「ケアの倫理」Café』(タブロイド判二つ折り4頁)を学習教材としてご活用ください。



長久啓太氏を迎えて行った  
昨年度の中期研修の様子

(県連教育委員長 生協さくら病院  
精神リハビリ科 科長 佐々木良範)

## 県連事務局人事往来

この度、医局医学生課に出向となりました。入職し7年目になり初めての異動です。これまでの仕事内容とは全く異なりますが、今までの経験を活かしながら、また一から学び邁進したいと思います。よろしくお願いいたします。

しらとり しゅほ (津軽保健生協  
着任 白取 趣帆 ⇒弘前事務所) 4/1付

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

# いつでも元気

MIN-IREN

2025 6月号 380円 好評発売中

◆集団自決の島で 沖縄

けんこう教室 内臓脂肪を最速で落とす  
ピカドンのドンが聞こえなかった人々  
お金をかけない健康法 認知症の予防⑩

まごのチカラ 埼玉県横瀬町

食と健康 はじめてのた所

発行＝徳保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657



# うちのメコッコ

vol. 84

## ♡ name

### 【写真右】

セキセイインコ

上 : ラッキーちゃん(7歳)

下 奥: めぐちゃん(6歳)

下手前: ライトくん(6歳)

### 【写真左】

文鳥

うめちゃん(1歳半)

奥が名付け親のなたくん

## 「鳥まみれ」～家に来てくれてありがとう～

子供とパパの次に大事な家族を紹介します。

両親が鳥好きで、私は生まれた時から鳥がいる生活が当たり前でした。クリスマスプレゼントには新しい鳥さんを迎え、お年玉は貯めて鳥かごやお世話のグッズを買っていました。本は10冊を超えます。20代の頃、キエリボタンインコを飼っていました。落ち込んだ時には助けられ、誰よりも側にいてくれる存在でした。その後主人と出会い結婚、偶然にも主人も鳥が好きで飼っていました。

今は、朝5時30分起床、鳥マンションのカーテンをオープン。6時40分に餌・水の交換。休日は特掃(絨毯交換、水拭きや日光浴等)。20時に夫が放鳥タイム。毛の状態や口ばしの色・爪など健康チェック。その間鳥さん達は、私達家族が外出しないように車のカギを落として遊んでいます。そんな可愛い家族へ「家にきてくれてありがとう」。鳥の名付け親は、この春中学1年生になる息子です。

(八戸生協診療所 大橋真紀子)



## 私の三つ星★★★★

オススメ

### 三つ星製パン

青森駅前の公園(交番裏)の、飲食店が3軒ある中の一つが「三つ星製パン」です。

道路から見えにくい所にあります。早いと昼前には売り切れていることもある人気店です。オススメはチョコクロワッサン! 外側はサクサク、中はモチリ、チョコも程よい食感でリピートしています。従妹の子供たちにお土産で持参したら、ここ以外のチョコクロワッサンを食べなくなったほどです。他にも暖かくなってくるとバインミーやクリスマスに合わせたシュトーレンなど、季節折々のパンも絶品です。

そして、こちらのパン屋さん、青森のソウルフード棒パンの生地も購入することができます。一度 BBQ の時

にやってみました。子供たちの食いつきがよく楽しい時間になりました。巻きつける棒も貸してもらえるので BBQ の時におススメです。



(協立クリニック 診療サービス課主任 青山美奈子)



## 5月 2025年5月 第57期第13回理事会報告

- >> 1. 会長あいさつ
- >> 2. 全日本民医連理事会報告関係
- >> 3. 人事
- >> 4. 決裁・承認事項
  - (1) 奨学生関係
    - ・医学奨学生(申請2名・国家試験再受験者1名)
  - (2) 県連・地協・全日本関係
    - ・看護就職内定者向け国家試験対策セミナー
  - (3) 各種委員会から
- >> 5. 協議事項
  - (1) 第57期臨時総会の開催に向けて
  - (2) 2024年度決算所見(医科法人除く)
- >> 6. 医師・医学生関連
- >> 7. 報告事項
  - (1) 全日本民医連通達・声明、地協関係
  - (2) 地協
  - (3) 県連・共闘関係
- >> 8. 各法人・事業所から